

樫谷議員 おはようございます。通告の前に少し訂正をお願いします。灘地区の道路整備と伐採の2番ですけれども、サンラインからの灘の道路ですが、水落ち一部閉鎖地区の抜け道。「として」を削除してください。それでは、通告していました2件について、一般質問させていただきます。学童保育を市宇ヶ丘学園に移転へ。働く保護者達の支援の一環として、実施されている学童保育。子ども達の放課後の居場所の一つである学童保育に対するサポートを実施しているおひさまスクールですが、現在、牟岐町では旧牟岐小学校で実施されていますが、3年生は車に乗りきれなく歩いて移動している現状を踏まえ、また、市宇ヶ丘学園に保育園、小学校、中学校が集結することにより、保・小・中一貫教育がなされているという方針のもとにも空き室を利用し、市宇ヶ丘学園に移転できないものか、お聞きします。できれば小学校6年生までのさらなる子どもたちの居場所の一つを構えられないものなのか、そうすることにより、新たな子ども達の共有の場が広がるのではないかと思います。私達が子どもの頃は地域で小学校のお姉さん、お兄さんが誰に言われることもなく低学年の子ども達の面倒を見ながら、なわとびやゴム飛び、けんけんばや陣取り、缶けり、あるいは、たんすながもち、チャンバラごっこなど、その遊びは6年生から教わり、低学年へと引き継いでいったことを覚えています。そして、「ごはんよ」という親の声で家路に帰ったものです。その頃は地域児童会が活発に機能されていたことも思い出されます。そういった新たな共有の場にならないものかと思いますが、教育長の見解をお聞きします。おひさまスクールの充実をはかり、子ども達の遊びや学び、発達を促す活動をどのように提案しているのでしょうか。学童保育の運営はどうなっているのか、保護者の負担金はどのようになっているのか、また、おひさまスクールで子ども達はどのようにしているのかも併せてお聞きします。次の質問に移ります。灘地区の道路整備と伐採を。今回、選挙戦にあたり、牟岐町内、各地区を回らせていただきました。その際、感じたことですが、灘地区の道路の整備の遅れを痛感いたしました。また、地域の方々より「灘の道路は遅れとれへんけ」との声もあり、内妻やその他の地域を見ても大変遅れているように見受けられます。そこで、地域の方の要望も受け、今回の質問に至りました。灘地区の道路の計画は、数十年前に途中まで出来ていますが、その後はそのまま放置されている現状です。いろいろな当時の事情があったのだと思いますが、地域の方々も地域の要望として、意見を集約してくれていると思いますので、道路計画の順路のゆくえは十分検討していただき前向きに進めていただきたいと思います。道路を造るにあたり、地権者の問題、道路のコースの問題など多々あるかと思われませんが、道路整備の出来ていない地域は発展がない。また、過疎化が急激に進むと言っても過言ではないと思います。谷が2箇所、S字が2箇所あるとこ

ろの折り合い道路。また、地権者の了解もいただいている栗林宅の門前のサンラインから灘への道路ですが、財源の確保ができ次第、進めていただきたいと思います。つぎに水落ち地区の一部閉鎖になっていますが、一部閉鎖地区の抜け道として、代替え道路の確保は可能なのか、水落ち地区の一部閉鎖は今後どのような見解になるのか進捗状況をお聞きいたします。灘地区の道路、水落ち地区の一部閉鎖道路と、地域の方々の十分な意見をお聞きし、出来ることと出来ないこともあろうかと思いますが、財源の確保が可能ならば、前向きに検討していただきたいと思います。つぎに灘地区の道路に、はみ出している木の枝の伐採についてお願いがあります。毎年、数回利用するバスの車両の上が当たり、アンテナが再々壊れるというクレームがありました。灘地区町道の木の枝の伐採は可能でしょうか。併せてお聞きします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 梶谷議員のご質問にお答えいたします。おひさまスクールの件は、後ほど副町長の方からお答えしますので、私は灘地区の道路整備についてお答えします。灘地区の道路、特に蔭栗道地区と水落ち地区の町道については、議員のご指摘のとおり幅員が4 mなく車も対向できない区間が幾つかあります。かつては下浜辺から蔭栗道に至る町道蔭栗道線も拡幅が計画され、工事にも着手していましたが用地買収等が困難になり現在に至っています。また、水落地区の町道灘線につきましても昨年の豪雨により落石があり、その後、落石の可能性が高いため現在も通行止めとしています。町道整備におきましては、着工から竣工に至るまで境界立会、地籍測量、用地交渉など多くの作業があり、それぞれの段階で所有者等、関係者の方々のご協力が必要となってまいります。また、整備の優先順位を決めるにしても町としての必要性はもちろん、部落ごと、あるいは、個人個人により相違があり、絶対的な判断基準はありません。したがって、今後は各部落会からの要望を必要条件とし、各部落から上がってきたものを役場で優先付けをし、計画的な執行をしてまいりたいと考えています。つぎに道路境界から出ている樹木の枝の伐採ですが、民法の定めにより伐採には所有者の同意を得ることとなっています。また、道路法により道路上の一定範囲は通行の障害になるものは置いてはならないとの定めがありますので、これらの樹木により事故等が発生した場合は、所有者の責任において解決する必要がありますので、現在はこの旨を所有者にご説明し、国、県、町が伐採している状況です。

枅富議長 大森副町長。

大森副町長 私の方からは、おひさまスクールに関しての檜谷議員のご質問にお答えしたいと思います。おひさまスクールにつきましては、牟岐町放課後対策事業としまして、牟岐町社会福祉協議会に委託して運営しています。現在は保護者が昼間家庭に居ない小学校1年生から3年生までを対象として、放課後の安定した遊び、生活の場として、さまざまなプログラムを実施しながら健全育成を図っています。活動内容につきましては、平日は宿題、読書、ぬり絵やおりがみ、グラウンドでの遊びなど。長期の休みの間は、異世代の交流、施設の訪問やふれあいサロンの訪問、交通安全教室、人権研修、プールや図書館、遠足なども行っています。また、避難訓練につきましては、随時行っているところです。授業の運営には、保護者から平日は200円、長期の休み中は400円の使用料を徴収しています。町からは、この事業とおやこサポートセンター、今年からはファミリーサポートセンターと名前を変えていますが、これと併せて委託費として6,000千円を支出しています。26年度の実績ですが、通年利用の登録者は27人で延べ1,796人の利用、長期休みの期間中の登録者は5名で延べ101人の利用となっています。なお、27年度の登録者ですが、通年が26名、長期の休みが1名となっています。この運営につきましては、職員以外に見守り隊や民生委員、学生ボランティア、地域の方々に支えられて行っています。家庭や地域、学校、教育関係者と連携を図りながら多方面からサポートを受けています。受け入れの拡大についてですが、近いうちに小学校3年生から5年生までの保護者にアンケート取ることにしています。ニーズがあれば対象を拡大していきたいと考えています。場所の問題ですが、この事業につきましては、当初、旧小学校の南校舎の教室で行っていましたが、小学校の移転統合によりまして、現在の北校舎で運営しています。その当時、町民センターの1室での運営も考えましたが、老朽化に伴う雨漏りやその他の改修、また、給食センターの建設等と重なりまして、そういった問題があり現在に至っています。現在、行っています旧牟岐小学校北校舎は、新耐震基準で建てられており、校舎3階部分について、津波時の避難場所にもなっています。また、社会体育施設の運動場、体育館を有してしまして子ども達の活動をする環境も整っていることから、この事業を行う場所として一定の要件は備えています。津波等の避難のことを考えれば、市宇ヶ丘学園がより安全と思いますが、当分の間は現在の場所で運営していくことになります。なお、町民センターの改修、改築につきましては、現在どうするか検討中です。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 再問します。学童保育の方ですが、今の小学校、中学校の中で空き部屋はないのでしょうか。これからできてくると思うのでしょうか。空き部屋はないのでしょうか。そういったものを活用して、できれば移動せずにあそこでサポートしてもらったと思いますが、そののこのところお願いします。それから、灘地区の道路の整備なのですが、部落会から上がってきたら再度検討するということではよろしいのでしょうか。それと、もう一つ、サンライン、先ほど言いました栗林家の前からサンライン道路から灘地区を通る道路ですね。これは地権者の了解も得ていますので、前向きに検討し財源が確保でき次第していただくというふうなことではよろしいのでしょうか。再度お願いします。

峯野教育長 小学校なんですけど、小学校の中でおひさまスクールに一番ふさわしいと思うところは1階の多目的教室だと思います。しかし、ご存知のように現在、小中学校、県のパッケージスクールの指定を受けていまして、地域の方々等、学校に来ていただいて、子ども達と交流を図るという取り組みをしています。例えば、婦人学級の方々に学校に来ていただいて、子ども達の交流を図っています。また、高齢者学級を小学校の方で開催もしています。それから、海部郡の中で牟岐町が真ん中にありますので、教員の会とか研修会とか、そういうふうなのが頻繁に開催されています。そういう活動の場として小学校の1階の多目的教室が使われていますので、あそこを日常継続的におひさまスクールが使用するということになりますと、学校運営に支障も出てくるのではないかと思いますので、少し難しいと思っています。それから、中学校なんですけど、中学校は3階に空き教室もあるわけなんですけども、習熟度学習ということで、例えば、英語、2年生、3年生なんかは、1クラスを2クラスに割って授業をしています。それから、生徒会の委員会活動、総合学習等で利用していますので、中学校におきましても常時おひさまスクールがあそこで活動するということになってくると、今のところ難しいのではないかというふうに思っています。

枅富議長 福井町長。

福井町長 灘地区の道路のご心配をいただいて、ありがとうございます。確かに議員がおっしゃるとおり灘地区の道路というのは、他地域と比べて非常に遅れているように私も感

じています。ただ、道路の新設につきましては、今、栗林邸とおっしゃっているのは新設ですよね。新設につきましては、他の地域にでも新たな道路を設置して欲しいというような要望もありますので、まずは部落会でまとめていただいて出していただく、そして、その緊急性とか工事額などを総合的に判断して優先順位の高いものからやっていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。それと、水落ち地区の落石につきましては、今まであったものが使えなくなっているという状況ですので、これは非常に緊急性が高いと考えていますので、早急に手を打ってまいりたいと思っていますので、よろしくお願いします。

枅富議長 枅谷議員。

枅谷議員 再問について答弁していただきましたけれども、学童保育の方の市宇ヶ丘の移転が当分の間可能でなければ、できるだけ改善センターのあそこのところの空前においていますよね。あそこのところの改装等をしていただいて、あそこにでも入れるような形で進めていただきたいと思います。それから、灘地区の改良ですけれども、地域の方から要望と再々おっしゃられますけれども、あそこの道路は、そんなに地域の方から陳情が出たり、要望が出たりしてあの道路ができたわけではないと思いますので、現場を見ていただいて確かに町長もおっしゃられるように灘地区の道路が遅れていますので、蔭栗のS字のところの道路の寄るところぐらいは確保していただきたいと思います。お願いいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。